

2023年10月期

決算補足資料

正栄食品工業株式会社
(証券コード 8079 東証プライム市場)

目次

- 1) 2023年10月期実績
- 2) 中期経営計画

1) 2023年10月期実績

業績ハイライト

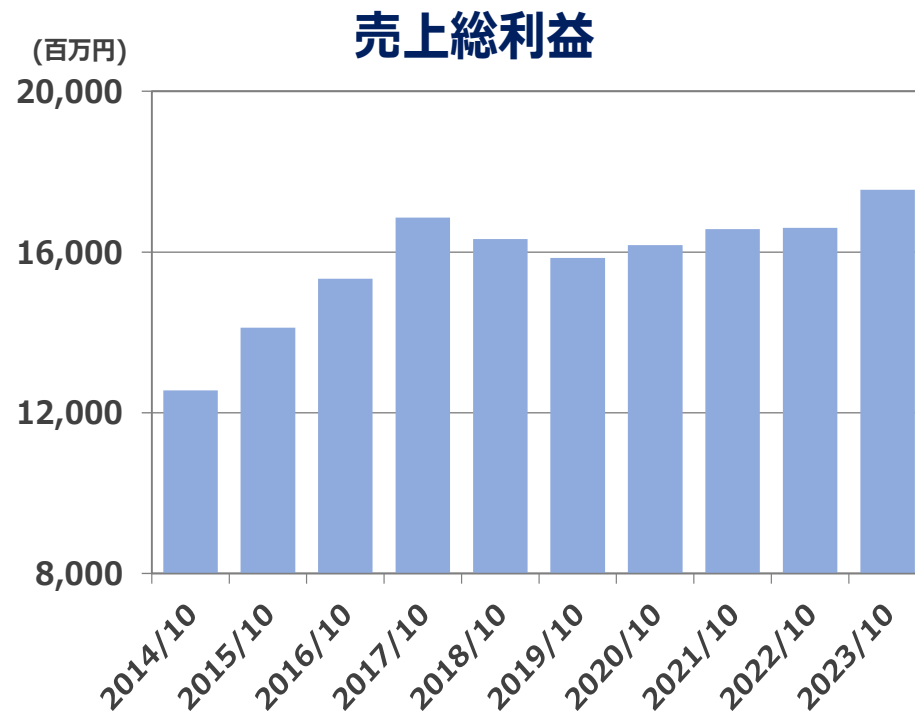
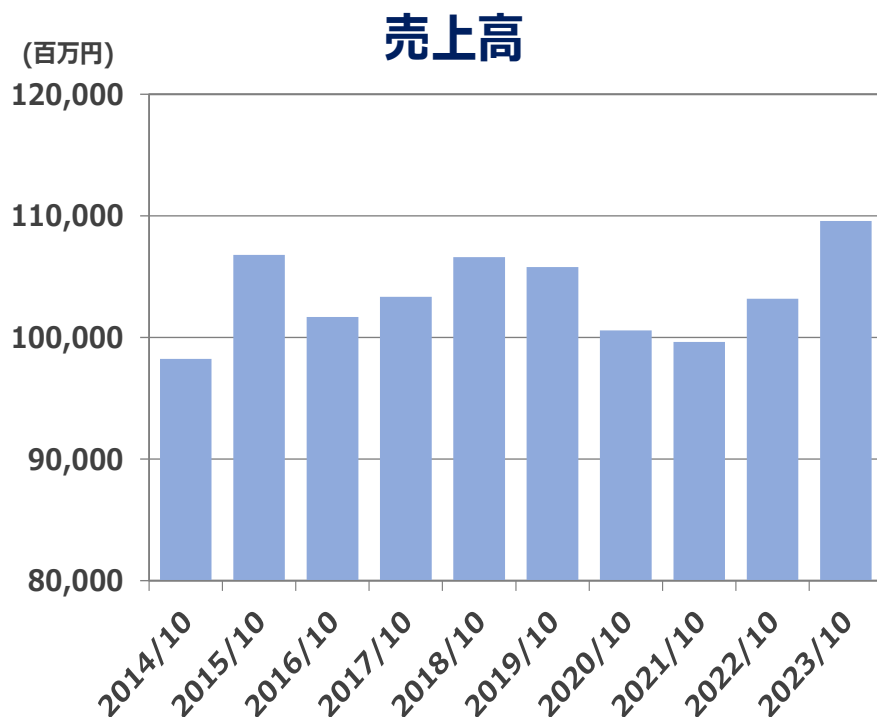
(単位：百万円)

	前期	当期		前期比	期初予想比
	実績	期初予想	実績		
売上高	103,188	100,000	109,594	+6.2%	+9.5%
売上総利益	16,604		17,552	+5.7%	
営業利益	3,749	3,000	4,034	+7.6%	+34.5%
経常利益	4,095	3,000	4,137	+1.0%	+37.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,788	2,000	2,809	+0.7%	+40.4%
売上高営業利益率	3.6%	3.0%	3.6%		達成
ROE	6.0%		5.6%		

✓ 2023年10月期の業績予想については、2023年9月11日付で売上高107,000百万円、営業利益3,500百万円、経常利益3,600百万円、親会社株式に帰属する当期純利益2,400百万円に修正しております。

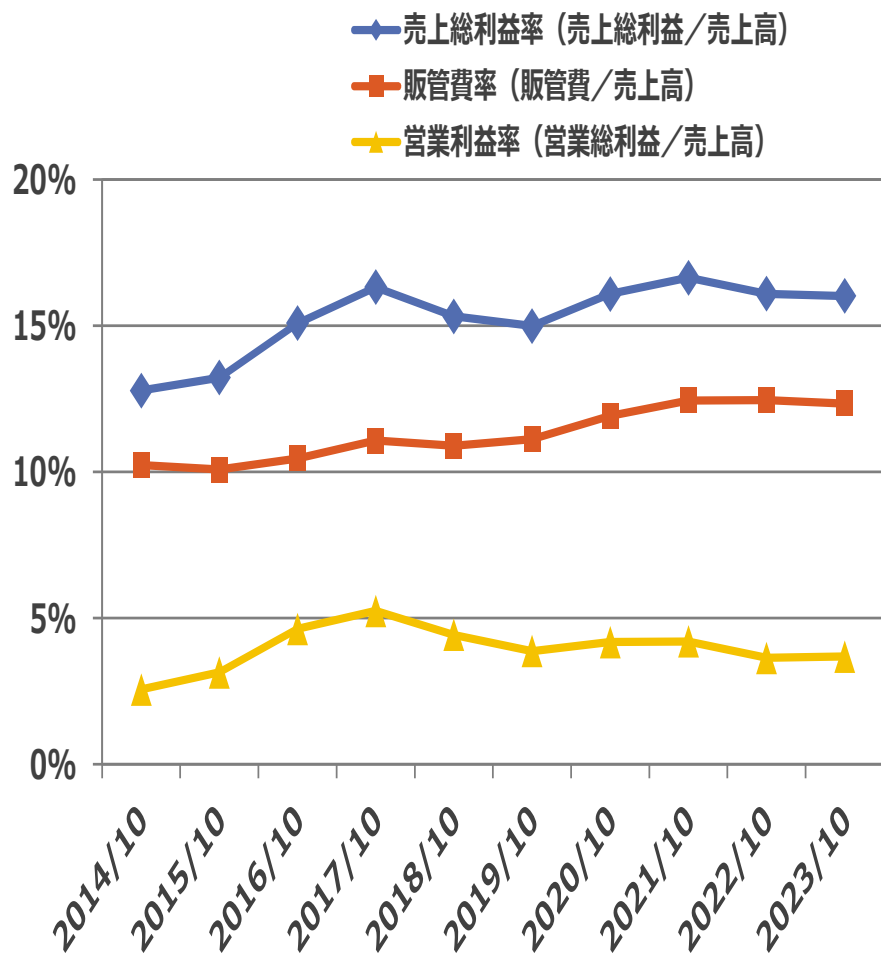
- ◆売上高は、原材料費・エネルギーコスト等の上昇を反映した価格引き上げもあり、乳製品・油脂類、製菓原材料類、菓子・リテール商品類など日本国内での売上が増加したことから、期初予想を+9.5%上回りました。
- ◆利益は、前期は米国でのクミ事業の利益が大きく拡大したため、前期比では米国セグメントの利益が大きく減少しましたが、値上げの浸透や工場の稼働率の改善、エネルギーコストの低下等から日本セグメントで当初予想を大きく上回る増益となり、中国セグメントでも香港でのビジネスが好調に推移しました。この結果、期初予想を上回る利益を計上し前期比でも増益となりました。
- ◆ROEにつきましては、親会社株式に帰属する当期純利益は増益となりましたが、資本勘定が増加したことから、低下となりました。

業績推移 売上高と売上総利益

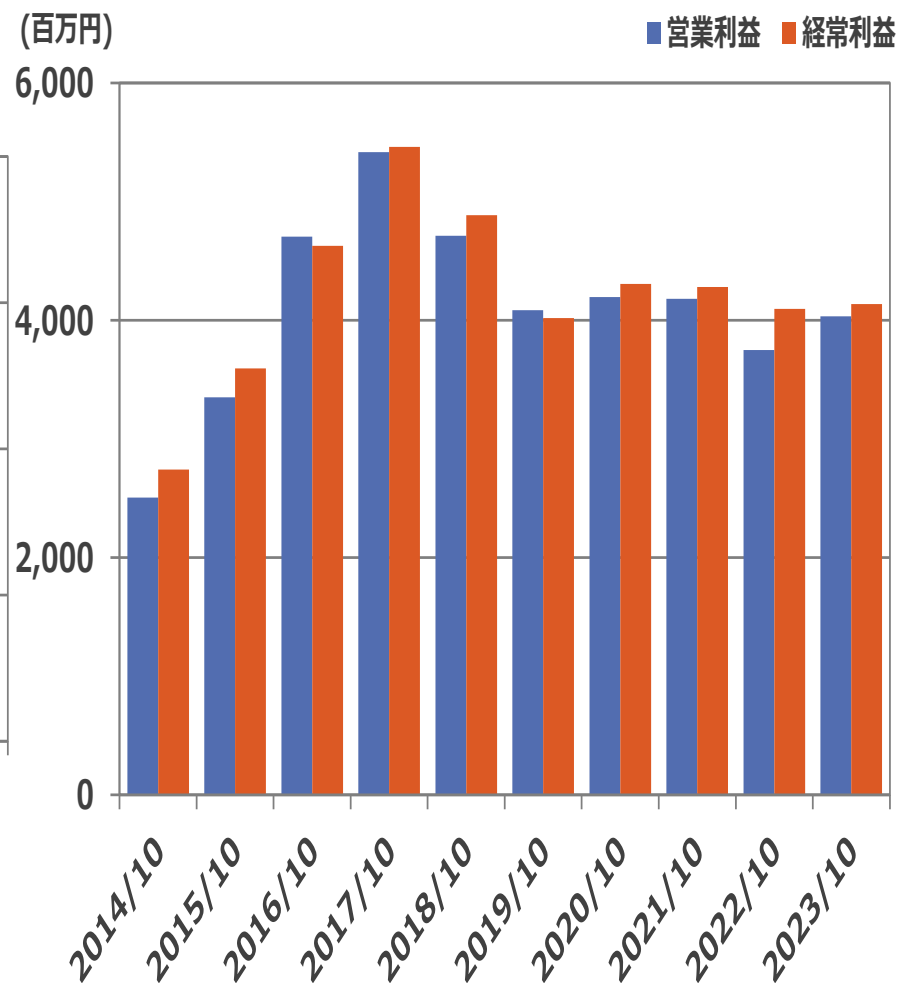


- ◆売上高：2022/10期からの収益認識基準適用による減少要因があったが、2022/10期、2023/10期と二期連続で増収。
- ◆売上総利益：コスト増を反映した値上げ効果もあり、4期連続で増益を確保。

業績推移 利益推移

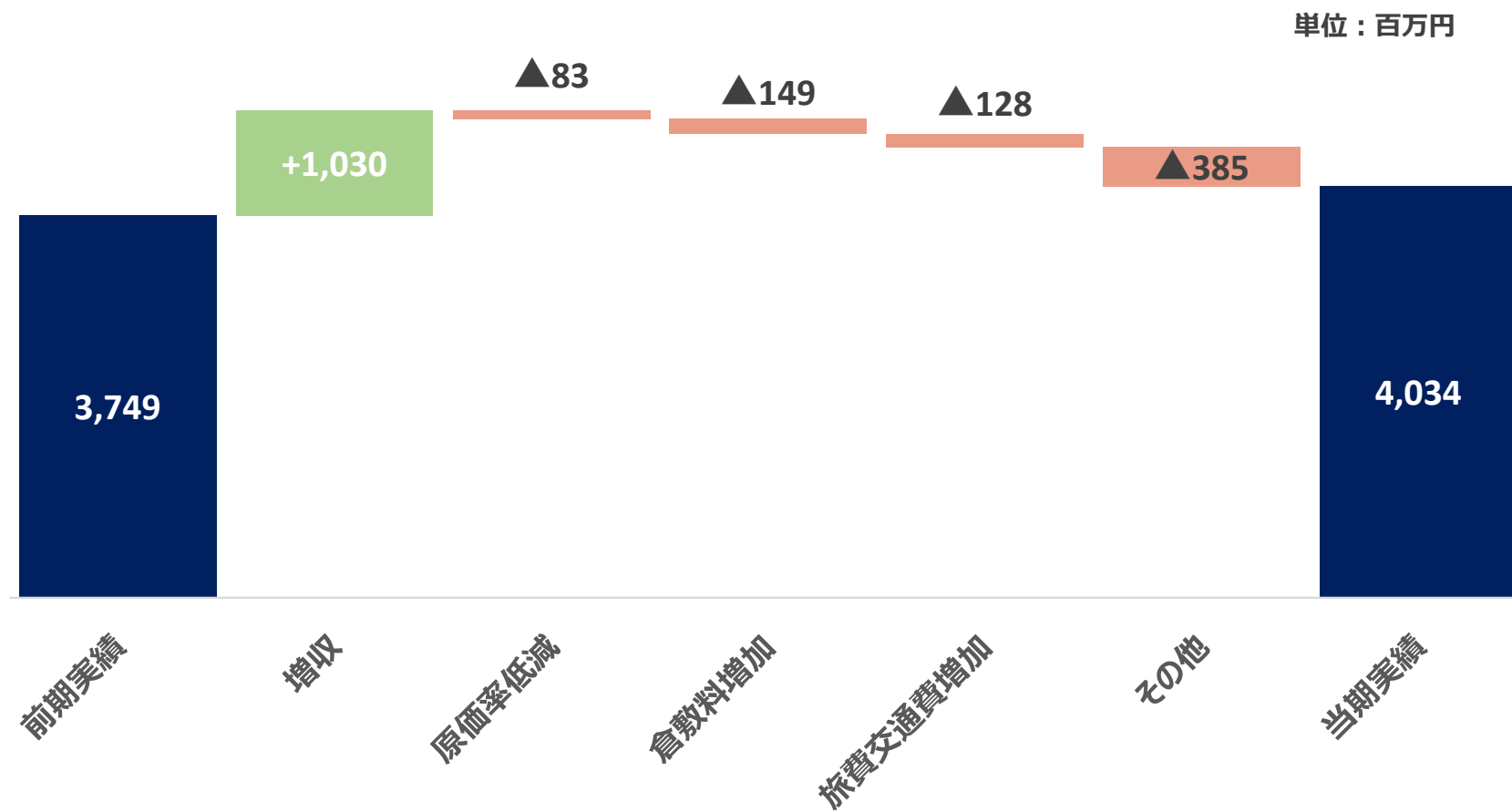


◆ 売上総利益率は低下したが、販管費率が低下し、営業利益率は上昇。



◆ 営業利益・経常利益はともに増益。

営業利益増減要因



セグメント別の事業内容

日本 製菓・製パン業界を中心とした食品業界向けの食品原材料（乳製品、油脂、製菓材料、乾果実、缶詰、外食用食材等）の仕入れ、加工・製造、販売を主要業務としているほか、菓子類や乾果実類（ナッツ、ドライフルーツ）のリテール商品を製造して販売。国内に7工場を所有。

米国 SHOEI FOODS (U.S.A.), INC.

- ① 乾果実類を米国内で仕入れ当社へ輸出
- ② クルミの仕入、加工、販売
- ③ プルーンの仕入と販売
- ④ プルーン・クルミの農園経営
- ⑤ 乾果実類の輸入販売



中国 青島秀愛食品有限公司
延吉秀愛食品有限公司

- ① 製菓原材料類、乾果実類の加工・製造
- ② 加工品、製造品の当社への輸出
- ③ 上海秀愛国際貿易有限公司や香港正栄国際貿易有限公司経由で中国・香港内での販売

上海秀愛国際貿易有限公司（北京、深圳、天津、成都に事務所）

香港正栄国際貿易有限公司

- ① 乾果実類を海外から仕入れ中国及び香港で販売
- ② 青島秀愛食品有限公司、延吉秀愛食品有限公司で加工・製造した製品を中国・香港内で販売



事業セグメント別業績

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益			
	前期	当期	増減額	増減率	前期	当期	増減額	増減率
日本	93,513	99,770	+6,257	+6.6%	3,179	3,689	+510	+16.0%
米国	9,619	7,950	▲1,669	▲17.3%	1,105	563	▲541	▲49.0%
中国	7,767	8,917	+1,149	+14.7%	▲182	92	+274	
調整額	▲7,711	▲7,042	+669		▲353	▲311	+42	
合計	103,188	109,594	+6,406	+6.2%	3,749	4,034	+285	+7.6%

日本

- ◆売上高は、円安やコスト上昇を反映した価格引上げもあり、輸入乳製品、製菓用焼き菓子、ナッツ類、レーズン、外食用食材など、総じて売上増加となり、増収。
- ◆セグメント利益は、物流費増等のコストアップ要因はありましたが、エネルギー価格や輸入原材料価格の落ち着きによる利益率改善や工場の稼働率上昇などの要因から、増益。

米国

- ◆売上高は、主力のクルミで販売物量は増加しましたが、市場価格の低下により販売単価が低下したこと等から、減収。
- ◆セグメント利益は、前期は販売契約後にクルミ価格が大きく低下し、これを反映して農家からの仕入価格を引き下げることができたため利ざやが拡大しましたが、今期は同様の利ざやを確保できなかったことから、減益。

中国

- ◆売上高は、中国国内販売でクランベリー等の販売が増加し、香港でも販売好調継続と日本からの輸入品の販売が大幅に伸びたことで増収。
- ◆セグメント利益は、中国産シード類輸出採算の改善や香港での販売好調により、黒字転換。

事業ポートフォリオ

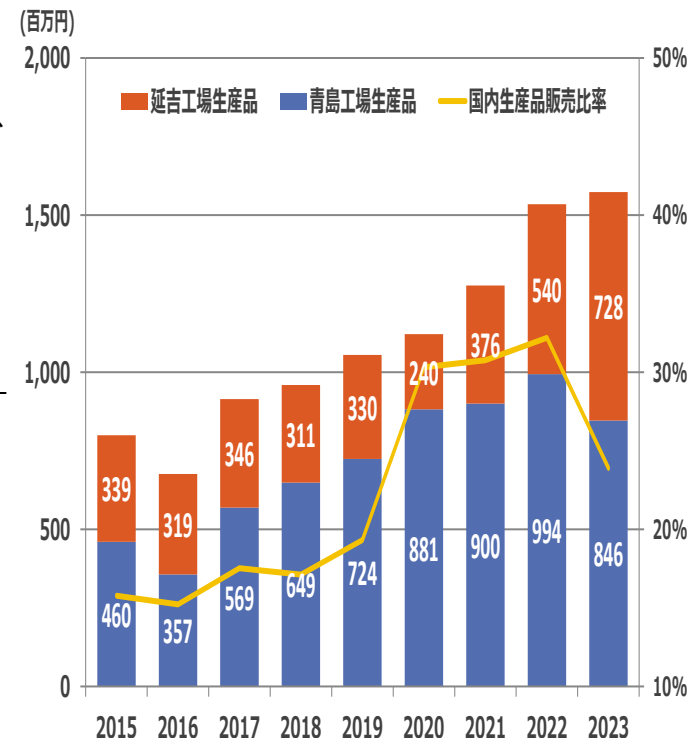
事業ポートフォリオに関する基本方針

- 当社事業は食品事業のみですが、対外的には事業セグメントとして、日本、米国、中国の地域別事業として3分割して事業の内訳を説明しております。
- これ以外に、当社事業の理解を深めていただく目的で、4品目別（乳製品・油脂類、製菓原材料類、乾果実・缶詰類、菓子・リテール商品類）での売上の状況についてご説明しておりますが、これらは事業としては密接に関連していることから、事業ポートフォリオとしては管理しておりません。
- 事業セグメントの状況については、決算短信、決算補足資料などの開示資料にて説明しております。
- 社内では、四半期決算時に業績進捗を確認することに加え、月次で業績動向に関する報告会を実施しており、見直しを実施しております。

事業ポートフォリオ見直しの状況

- 日本セグメントは当社の基幹ビジネスであり、セグメント別の業績にある通り、売上は順調に推移しております。
- 米国セグメントについては、売上・利益ともに順調に推移しており、継続すべき事業と考えております。
- 中国セグメントについては従来、赤字が継続しておりましたが、香港地域における売上好調と中国産シード類輸出採算の改善等から2023/10期には黒字化を実現いたしました。しかしながら、円安を背景にした日本から香港への輸入品の採算改善等一時的な要因もあり、図の通り、グループ会社工場製品の中国内売上は2023/10期には前年比で伸びが鈍化しておりますので、引続き市場ニーズを的確に把握の上、競争力のある商品開発に注力し、国内販売シェアの拡大を目標に取り組んでまいります。

<中国内生産品販売>



品目別の主要取扱い商品

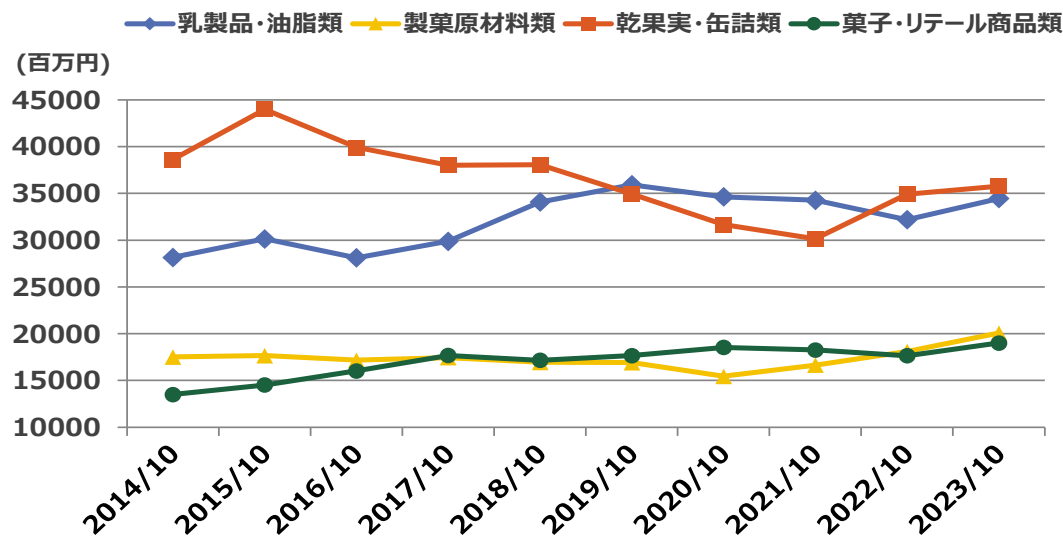
大分類	中分類	主な商品
乳製品・ 油脂類	乳製品	粉乳、練乳、液状乳製品、バター、チーズ、乳糖、ホエイ
	油脂類	製菓・冷菓・製パン用油脂（マーガリン類、ショートニング等）
製菓 原材料類	製菓材料	チョコレート加工品、フルーツ洋酒漬（ラムレーズン他）、メープルシロップ、フルーツフィリング
	栗製品	栗甘露煮、マロンペースト、マロングラッセ等
	和菓子材料	製菓用野菜、桜漬葉、柏葉、よもぎ、杏仁霜
	製パン材料	穀粉類（上新粉、もち粉他）、輸入米粉
	仕入商品	チョコ・ココア、膨張剤・ゼリー、蜂蜜・糖類、洋酒（リキュール類他）、抹茶、胡麻
乾果実・ 缶詰類	ナッツ	クルミ、アーモンド、マカデミアナッツ、松の実、パンプキンシード、ココナッツ、カシューナッツ、ヘーゼルナッツ、ピスタチオ
	ドライフルーツ	レーズン、プルーン、クランベリー、ブルーベリー、パイン、いちじく
	フルーツ加工品	リンゴ加工品、ミカン加工品、黄桃缶詰、マンゴー加工品
	業務用食材	パスタ、トマト加工品、デザート食材、スイートコーン
菓子・ リテール商品類	菓子	チョコレート菓子、ビスケット
	リテール商品	ナッツ小袋、プルーン小袋、その他ドライフルーツ小袋、野菜加工品

品目別売上構成

(単位：百万円)

	前期		当期		前期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
乳製品・油脂類	32,186	31.2%	34,462	31.5%	+2,276	+7.0%
製菓原材料類	18,105	17.6%	20,070	18.3%	+1,964	+10.8%
乾果実・缶詰類	34,913	33.8%	35,760	32.6%	+847	+2.4%
菓子・リテール類	17,639	17.1%	19,002	17.3%	+1,362	+7.7%
その他	343	0.3%	298	0.3%	▲44	▲13.0%
合計	103,188	100.0%	109,594	100.0%	+6,406	+6.2%

品目別売上推移



乳製品・油脂類

◆国内脱脂粉乳、国内バター製品、輸入バター等の売上が増加いたしました。

製菓原材料類

◆製菓用焼き菓子やコンビニエンスストア向けなど仕入品の国内販売、香港正栄での日本製抹茶等の販売が増加しました。

乾果実・缶詰類

◆米国でのクルミの売上は市場価格の低下から減少しましたが、日本国内でアーモンド、ココナッツなどのナッツ類やレーズンなどのドライフルーツ、外食用食材の売上が好調に推移しました。

菓子・リテール商品類

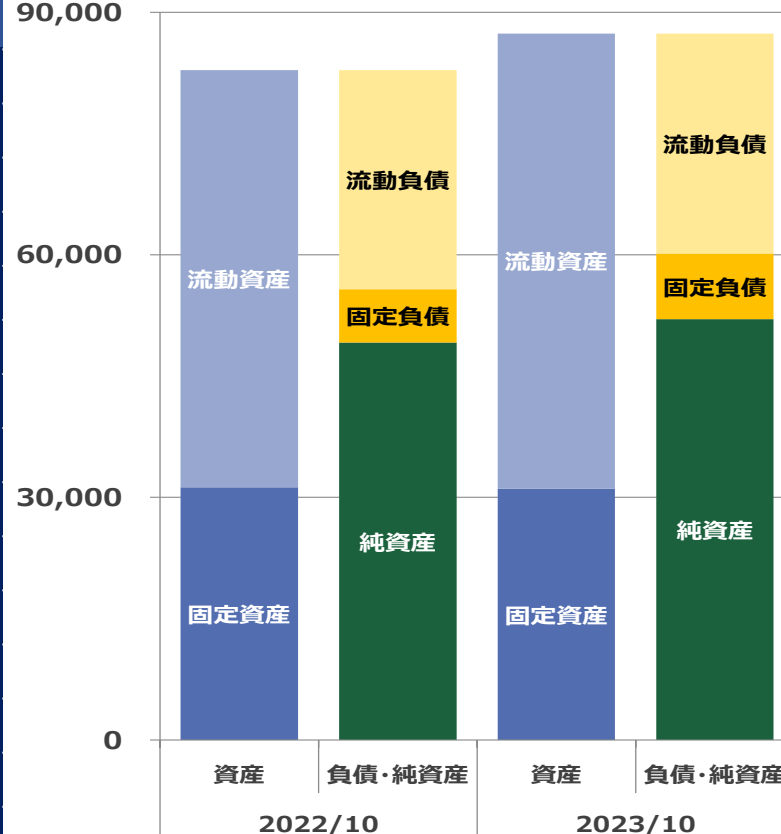
◆菓子類については、値上げ効果もあり、売上げ増となり、ナッツ小袋などのリテール商品の販売も増加しました。

連結財政状況

(単位：百万円)

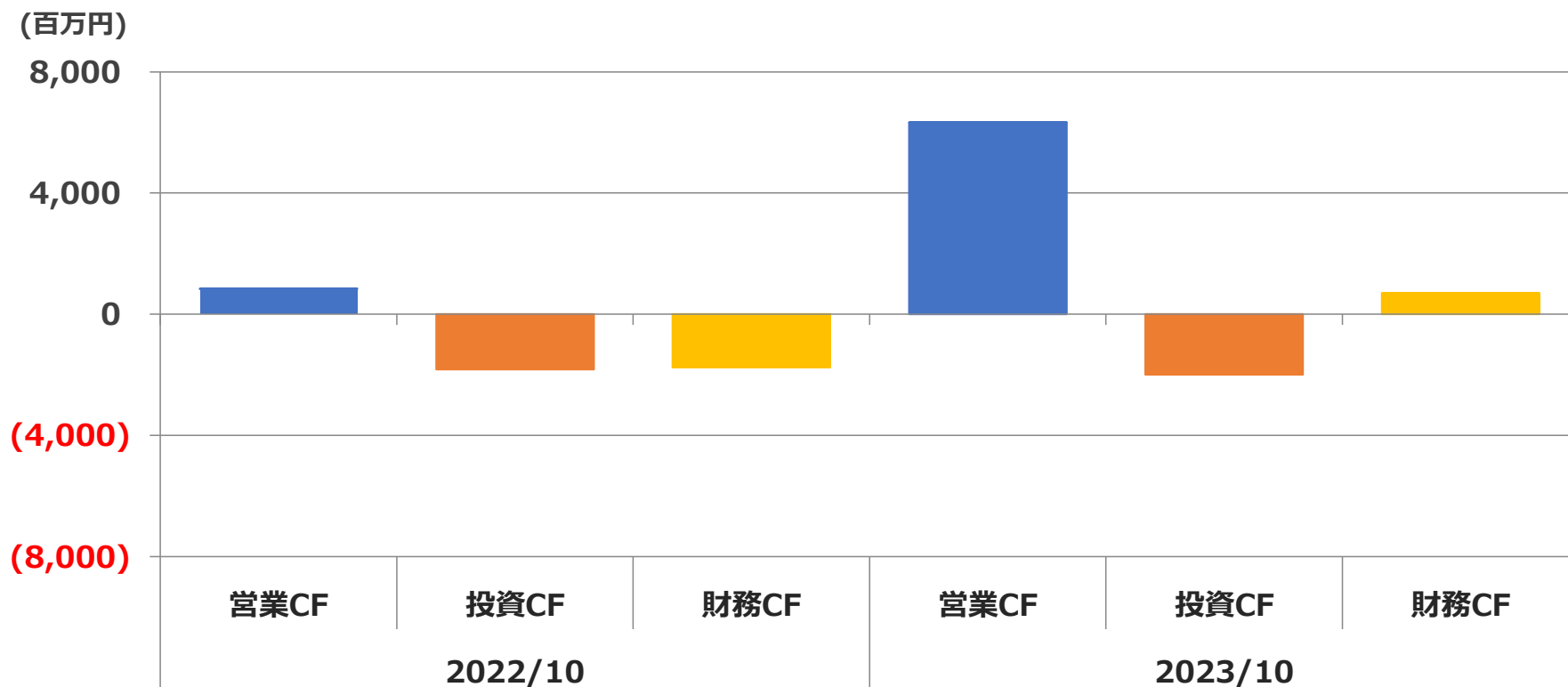
		前期	当期	増減額	
資産	流動資産	現預金	7,867	12,948	+5,081
		受取手形及び売掛金	20,285	21,124	+839
		棚卸資産	21,380	20,104	▲1,276
		その他流動資産	2,066	2,077	+11
		小計	51,598	56,254	+4,656
	固定資産	有形固定資産	24,901	24,119	▲782
		無形固定資産	279	291	+12
		投資その他の資産	6,072	6,690	+618
		小計	31,253	31,101	▲152
	資産合計		82,851	87,355	+4,504
負債	流動負債	27,090	27,191	+101	
	固定負債	6,602	8,128	+1,526	
	負債合計	33,693	35,320	+1,627	
純資産	株主資本	42,865	44,890	+2,025	
	その他の包括利益累計額	5,406	6,217	+811	
	非支配持分	886	928	+42	
	純資産合計	49,158	52,035	+2,877	
負債・純資産合計		82,851	87,355	+4,504	
有利子負債		17,093	18,705	+1,612	

(百万円)
90,000



- ◆ 棚卸資産は減少したが、現預金が増加し、流動資産は増加し、資産合計も増加。
- ◆ 固定負債の増加により負債合計も増加。
- ◆ 為替換算調整勘定の増加と利益の内部留保により純資産が増加。

キャッシュフローの状況



- ◆ 営業キャッシュフローは利益の内部留保と棚卸資産の減少により大幅のプラス。
- ◆ 大型の設備投資は終了し、投資キャッシュフローのマイナスはほぼ前年並み。
- ◆ 有利子負債の増加により財務キャッシュフローはプラス。
- ◆ 現金及び現金同等物は大きく増加。

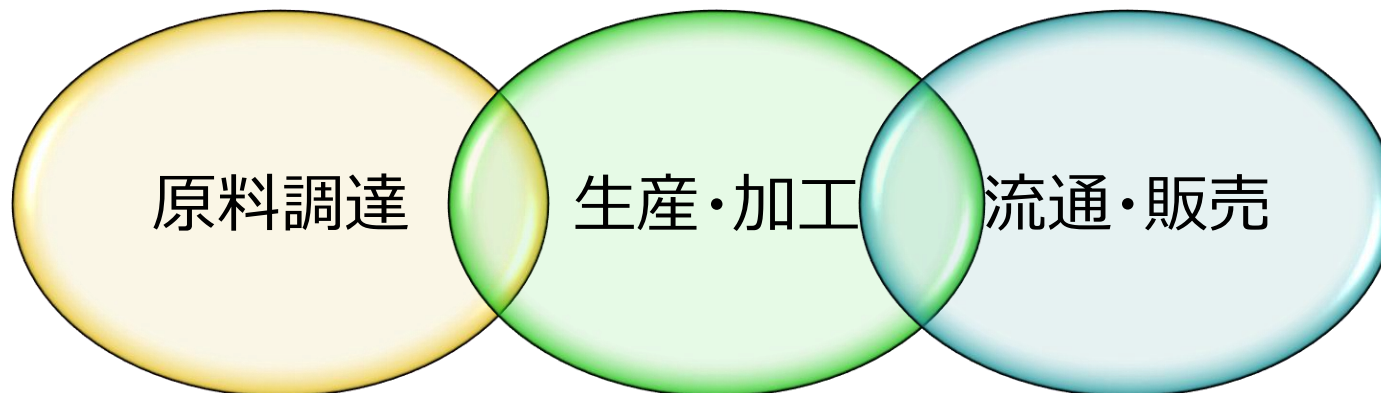
2) 中期経営計画

経営理念と企業ビジョン

経営理念： 私たちは、お客様に常に国内及び海外から厳選された安全・安心な食品を提供することで、新たな食文化を創造し、社会に貢献することを目指します。

ビジョン： 私たちは、新たな食文化の創造を通じて社会に貢献できるグローバルな企業グループを目指します。そのために、お客様の变化するニーズに的確にお応えできるよう、原料調達、生産・加工、流通・販売という一貫した機能を強化してまいります。

お客様



経営環境と課題

国際情勢不安、気候変動、
為替相場変動等による
食材価格変動の拡大

環境への配慮や人権など
サステナビリティ経営への
関心の高まり

健康志向や消費
スタイルの変化など
ニーズの変化と多様化

コストの上昇と
デジタル技術の
進展

人財確保・育成、
公正な人事評価の
必要性

経営戦略と施策

1. 食品専門問屋としての成長戦略

主要商品におけるサプライチェーン持続可能性の追求	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新規開拓及び仕入商品の産地多様化・分散化による仕入先多様化の推進。 ◆ 仕入先との品質管理基準、リスク管理の共有や工程監査、定期会議等を通して長期協力関係を構築。
健康で豊かな食生活に向けた食の多様性提案	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 健康志向、ヴィーガン食、完全栄養食等の新しい需要へ対応した営業活動。 ◆ 健康素材の発掘を進め、食の多様性提案に工夫した営業活動の強化。
グローバル展開の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中国事業の黒字安定化及び米国事業の強化。 ◆ 新興国市場の成長に合わせた輸出事業の推進、現地需要に特化した商品開発。

2. 食品加工メーカーとしての成長戦略

付加価値商品である自社加工品の増産体制と拡売	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市場ニーズにマッチした付加価値商品の選定及び該当自社加工品の設備投資による増産体制の構築。 ◆ 自社加工品の販売地域拡張、新たな販路の開拓。
環境への負荷を減らす取組み	◆ 再生可能エネルギーの使用検討、食品ロス・廃棄物の削減、歩留り改善による廃材削減、リサイクル品の導入など環境への負荷を減らす取組み。
持続可能な物流網の維持	◆ 物流課題への取組みをスタートさせ、既存物流網の見直し、「2024年物流問題」への検証と対策。
安心・安全な食品の提供	◆ 自社工場の品質管理・保証体制の強化を進めると共に、協力工場、仕入先への品質監査体制の強化を図り、安心・安全な食品の提供体制を維持。

3. サステナビリティ経営の推進

環境対応、人権対応の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ カーボンニュートラル実現に向け、CO₂排出量の蓄積データに基づき目標を設定。 ◆ 仕入先の人権・環境対応等に関するCSR調査を継続実施。 ◆ 職場における人権に関わる諸課題への対応強化。
ステークホルダーとの協働	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境への配慮、社会貢献、公正・透明な企業運営などのCSR（企業の社会的責任）への対応推進。 ◆ 働き易い職場環境の整備、労働条件の改善や福利厚生の充実を図ると共に地域社会への貢献の継続促進。 ◆ 企業価値の向上を目指しIR活動を強化。
コーポレート・ガバナンス体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 情報開示の強化による企業の透明性と説明責任の確保。 ◆ ガバナンス委員会の活用と取締役会の実効性向上によるコーポレート・ガバナンス体制の一層の充実。 ◆ リスク管理・コンプライアンスの徹底。
経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆ DX推進による業務効率化の向上、自社社員のDXレベルの向上。 ◆ 人事制度の再構築、多様性の追求、育成プログラムの構築を通して人的資本を最大限活用。 ◆ 経営戦略の実現に適合する人財戦略の構築。

2024/10月期業績予想

(単位：百万円)

	第2四半期			通期		
	当期実績	来期業績予想	増減率	当期実績	来期業績予想	増減率
売上高	55,771	57,000	+2%	109,594	110,000	+0.3%
営業利益	2,097	2,300	+9%	4,034	4,200	+4%
経常利益	2,082	2,350	+12%	4,137	4,250	+2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,349	1,600	+18%	2,809	2,900	+3%
1株当たり当期純利益	80円11銭	95円01銭		166円81銭	172円20銭	

経営目標と株主還元方針

- ◆売上高に関しては、作柄や需要の変化を反映した現地価格の変動や為替相場の変動により、輸入食材の仕入単価が変動し、これを反映し販売価格も変動することから、販売量の増減とは別に売上高の増減要因となります。従って、経営指標としては、売上高よりも、売上総利益や営業利益での増益を主要な経営目標としております。
- ◆また、企業価値の持続的な向上を目指し、中長期的にはROE（株主資本利益率）で8%を目指す方針としております。工場の新設などの設備投資を積極的に行っており、減価償却費の計上等により現在は8%を下回っておりますが、中長期的に8%の達成を目指します。
- ◆利益配分につきましては、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置付け、安定的な配当を維持することを基本方針とし、また、中長期的な成長を実現するための事業投資と、内部留保の水準等を考慮して総合的に判断し、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。
- ◆当事業年度の配当につきましては、中間配当が1株につき24円、期末配当が1株につき24円、合計で48円の配当といたしました。次期の配当につきましては、普通配当の48円に加え、創業120周年の記念配当2円の合計50円（中間配当25円、期末配当25円）を予定しております。

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。